

市販の雑誌・新聞等への執筆実績(平成30年4月以降)

①農業共済新聞(連載終了)

(1)平成30年4月25日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

1. 必須元素だけでは不十分

農業技術者間に広がる誤解

(2)平成30年5月30日

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

2. ホウ素通常の堆肥施用量では不足

作物種間での適量値を把握

(3)平成30年6月27日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

3. マンガン堆肥過剰連用で欠乏症発生

葉面散布が黄化障害に有効

(4)平成30年7月25日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

4. 銅有機物のよって不可給化する

ピートモス培地で欠乏

(5)平成30年8月29日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

5. 亜鉛リン酸過剰、高pHで不可給態化

作物に吸収されず不足要因に

(6)平成30年9月4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

6. 有機物の多い土壌でも、微量元素を施用すると、多収、高品質な農産物が得られる場合がある。

(7)平成30年10月24日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

7. 鉄欠乏症はアルカリ土壌で生じやすい

下草の飼料作物は鉄を可溶化し、果樹はそれを吸収

(8)平成30年11月21日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

8. モリブデンで青い花を咲かせる

過剰障害の受けにくさを利用

(9)平成31年1月30日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

9. 尿素の有効利用へ微量のニッケルが必須

(10)平成31年2月27日4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

10. 潮風に含まれる塩素は気孔開閉などに必須

(11)平成31年3月4週号

微量元素のはたらきを知る～より効率的な活用に向けて

最終号ケイ素は微量必須元素か？

11. ケイ素は総合調整役として必須(現在の必須元素の定義にはない)

連載は以上の11回で終了しました。

②農耕と園芸現在下記を連載執筆中

(1)農耕と園芸2019年春号52～57頁

新連載栄養素の新知識

“農水省が硝酸性窒素を機能性成分として認めた

硝酸イオンは緑内症の予防にも効果”

(2)農耕と園芸2019年夏号45～50頁

新連載栄養素の新知識

“日本の土壌は亜鉛不足

高齢者の3分の1は亜鉛欠乏”

(3)農耕と園芸2019年秋号46～51頁

新連載栄養素の新知識

アブラナ科野菜は大量のホウ素を要求する。

ホウ素はがんを抑制し、骨形成、長寿、ヒトの健康に必須

(4)農耕と園芸2019年冬号

新連載栄養素の新知識

ケイ酸は2015年に全ての植物に対して「価値ある物質」と認められた。
人に関してはオステオカルシンを合成し、若返り物質として作用する。

以上のように現在は、年4回の季刊誌に継続執筆させていただいて
います。